



平成30年7月4日

平成30年7月2日からの大雨による 出水の概要（速報版）をとりまとめました

留萌開発建設部では、平成30年7月2日からの大雨による出水の概要（速報版）について、別紙のとおりまとめましたので、お知らせします。

今般、留萌開発建設部管内では、前線の影響により、留萌川流域で激しい雨が降りました。

このため、当部が管理する留萌川の水位観測所全4箇所の内、はん濫危険水位超過1箇所、はん濫注意水位超過3箇所となり、全ての水位観測所において基準水位を上回りました。

しかしながら、当部がこれまで進めてきた河川整備や洪水調節施設によって出水時の水位低下がはかれ、洪水の軽減を図ることができました。

※ 本速報に記載されている数値や図表は平成30年7月4日現在の速報値であり、今後、変更となる可能性があります。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 電話 0164-43-5515

治水課 課長 大山 孝（内線 291）

治水課 課長補佐 平塚 修二（内線 292）

留萌開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>



「平成30年7月2日からの大雨による 留萌川流域での出水」 【速報版】

平成30年7月4日
国土交通省北海道開発局
留萌開発建設部

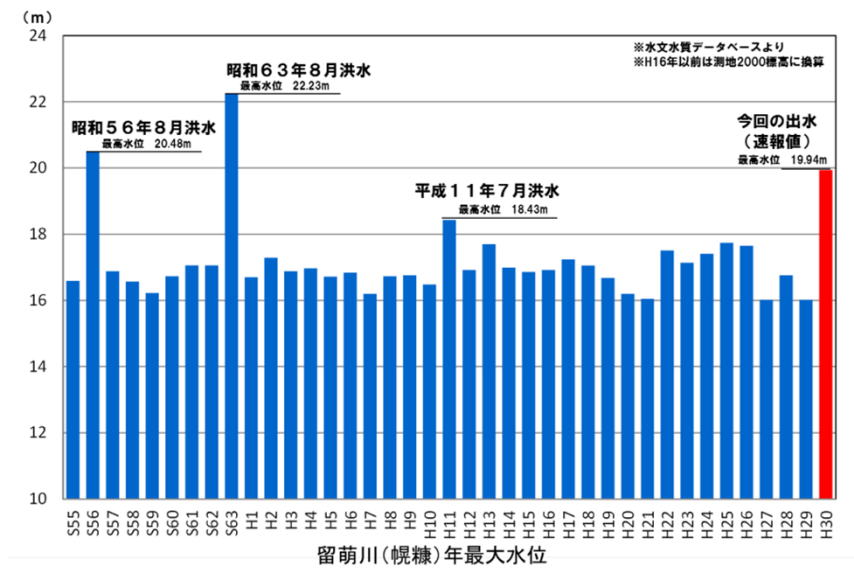
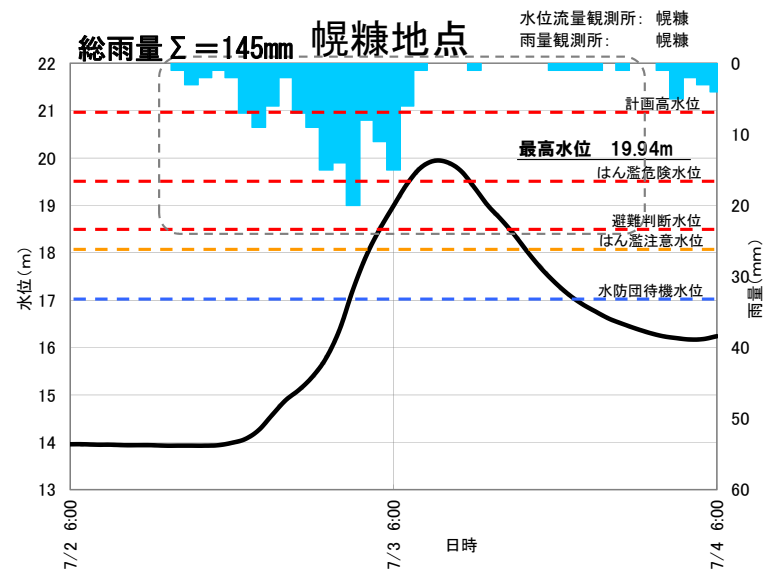
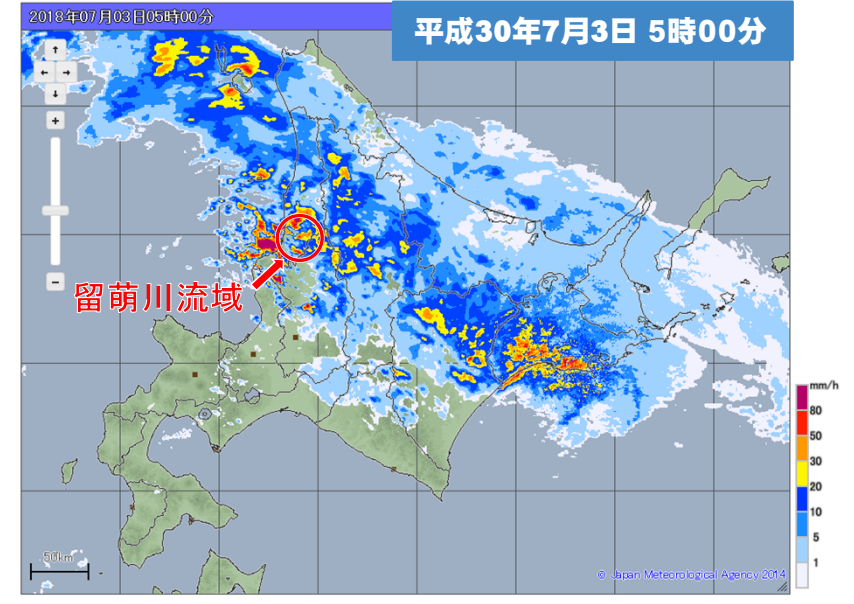
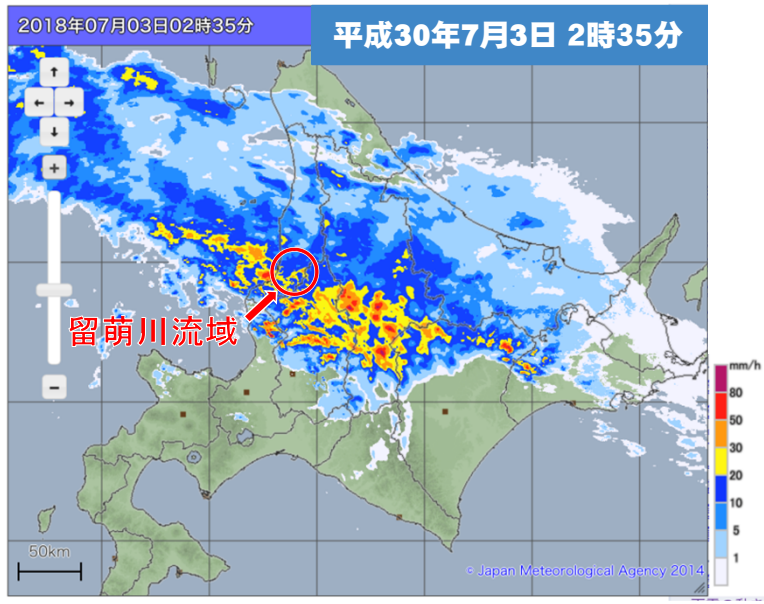
※ 本速報に記載されている数値や図表は平成30年7月4日現在の速報値であり、今後、変更となる可能性があります。



留萌川水系 留萌川流域の雨量状況

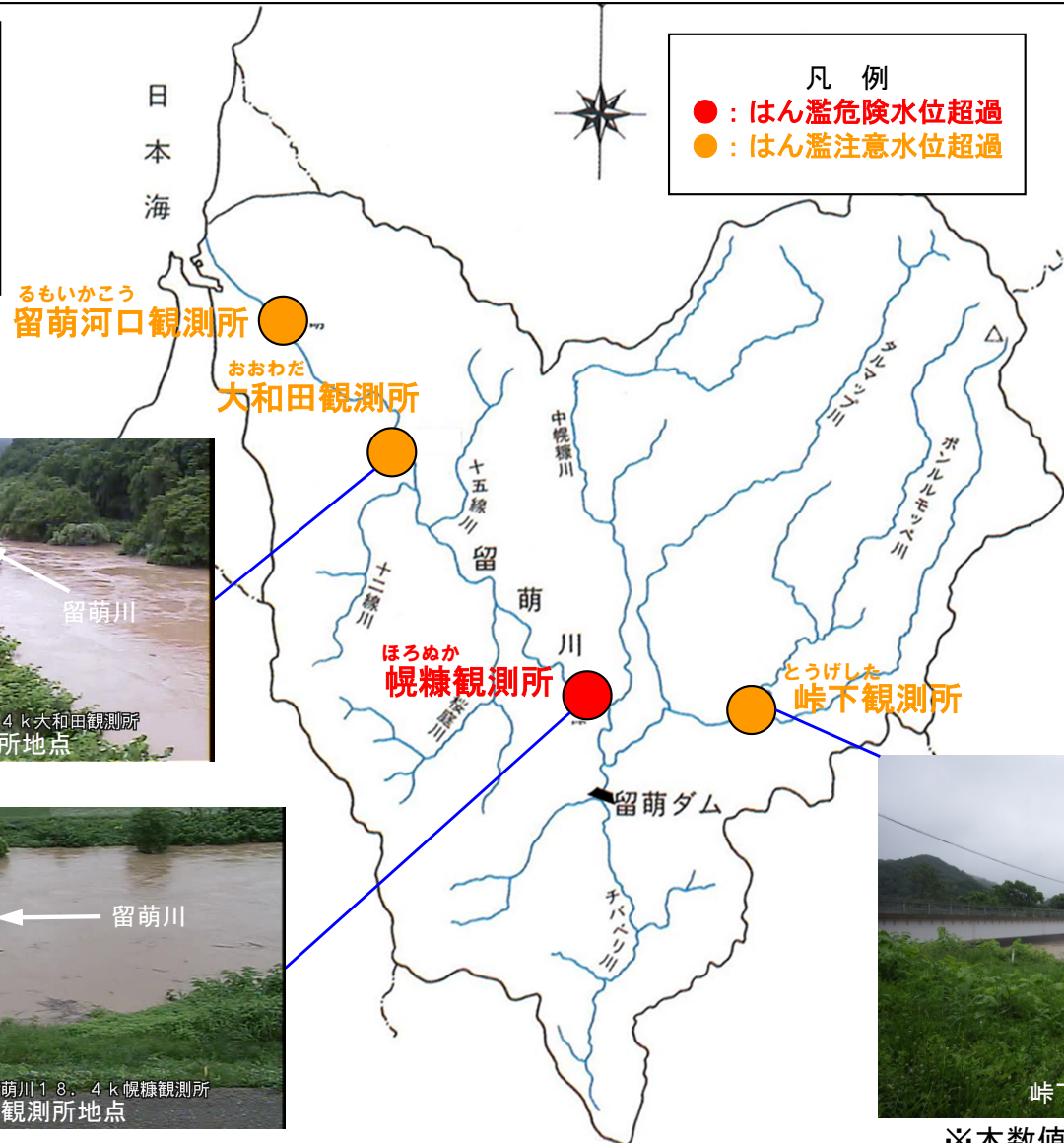
※本数値は、速報値であるため変更となる可能性があります。

留萌川では、7月2日からの大雨の影響により、留萌川流域で激しい雨が降りました。流域の幌糠雨量観測所では1時間に20mmを観測しました。



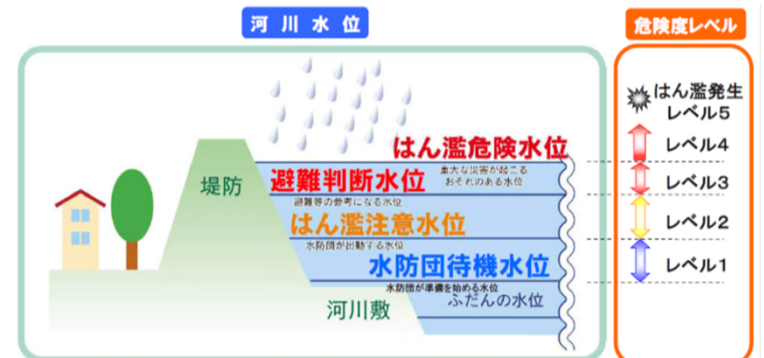
留萌川水系 留萌川流域の水位状況

■ 平成30年7月2日からの大雨により、留萌川の水位観測所全4箇所の内、はん濫危険水位超過1観測所、はん濫注意水位超過3観測所となり、全ての水位観測所において基準水位を上回りました。



凡例
● : はん濫危険水位超過
● : はん濫注意水位超過

- 【基準水位を超過した観測所】
- はん濫危険水位超過：1観測所
(幌糠観測所)
 - はん濫注意水位超過：3観測所
(留萌河口、大和田、峠下観測所)



- はん濫危険水位：洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じるはん濫の起こる恐れのある水位
- 避難判断水位：避難勧告等の発令判断、住民の避難判断の目安となる水位
- はん濫注意水位：水防機関が活動して水防活動を行う目安となる水位
- 水防団待機水位：水防団が水防活動するため待機する水位



※本数値は、速報値であるため変更となる可能性があります。

留萌川水系 留萌川流域の出水状況

■ 平成30年7月2日からの大雨により、留萌川の峠下地区では水田の一部に浸水（面積0.7ha）が発生しました。また、留萌川の各地点においても河川の水位が上昇しましたが、これまで進めてきた河川整備や洪水調節施設によって出水時の水位低下等を図ることができました。

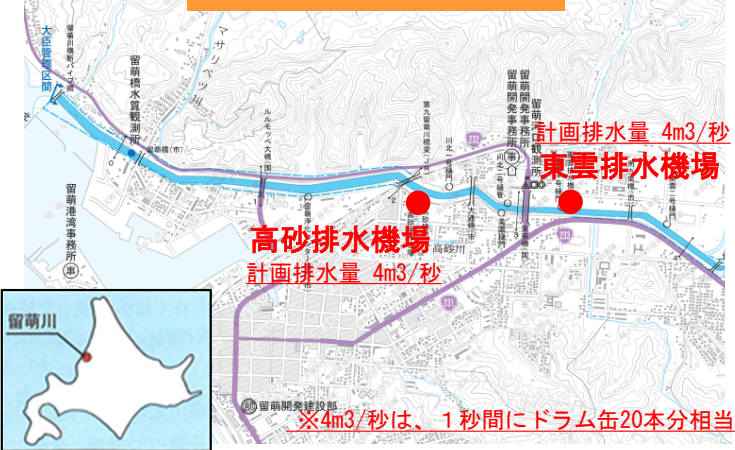


※本数値は、速報値であるため変更となる可能性があります。 3

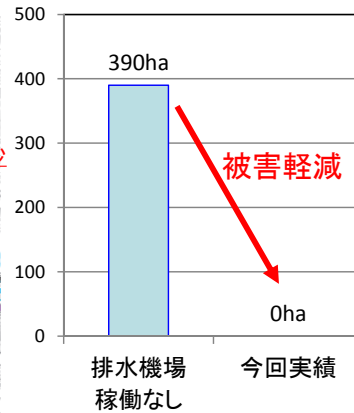
5. 治水事業の効果③ 排水機場の効果を発揮（北海道 留萌川）（国管理） 国土交通省

- 留萌川では、昭和56年8月洪水及び昭和63年8月洪水により留萌市街地での内水氾濫被害を受け、高砂排水機場（昭和61年完成）、東雲排水機場（平成13年完成）を整備しました。
- 平成30年7月3日の出水により、高砂排水機場が約7時間稼働、東雲排水機場が約13時間稼働し、2機場合わせて約20万m³の内水排除を実施、仮に排水機場が無い場合、市街地約390ha、約256戸の家屋が浸水したと想定されます。

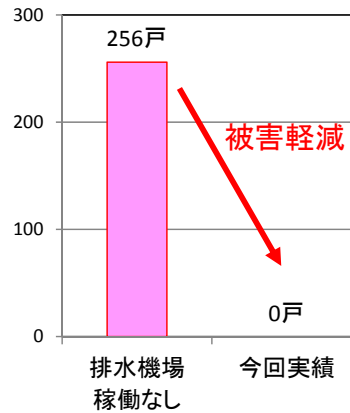
現況の排水機場の位置図



浸水想定面積 (ha)

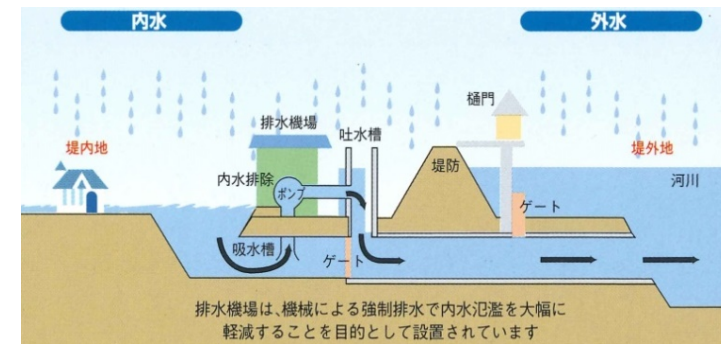


浸水戸数 (戸)

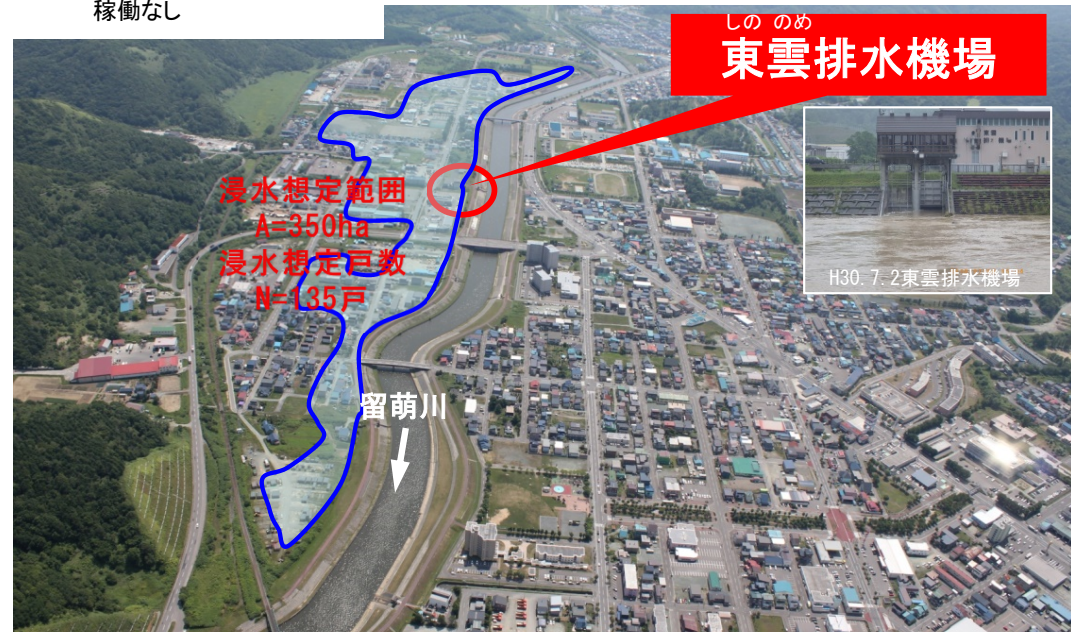


※本数値は、速報値であるため変更となる可能性があります。

排水機場の概要



高砂排水機場が無かった場合の浸水想定範囲

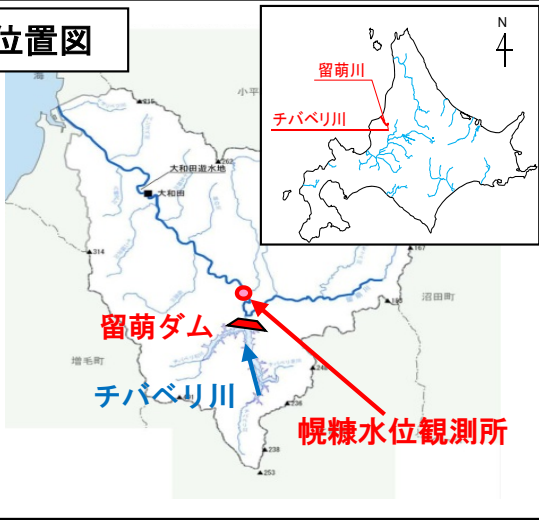


東雲排水機場が無かった場合の浸水想定範囲

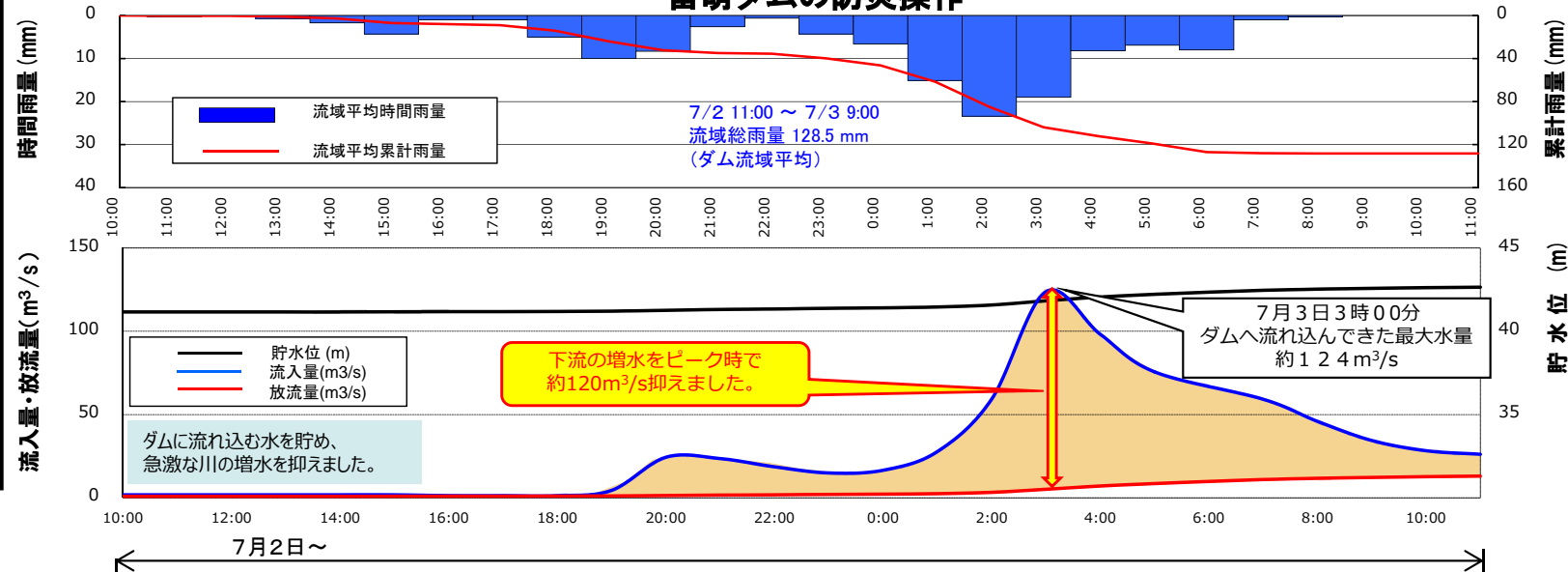
ダム整備が効果を発揮(北海道 留萌ダム)(国管理)

○平成30年7月2日からの大雨による出水により、留萌ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
○留萌ダムの洪水調節等によって下流河川の水位低減を図り、下流の留萌市（幌糠観測地点）では、約1.0mの水位低減することができたと想定されます。仮にダムが無い場合、下流の藤山地区において、面積21ha、家屋6戸が浸水したと想定されます。

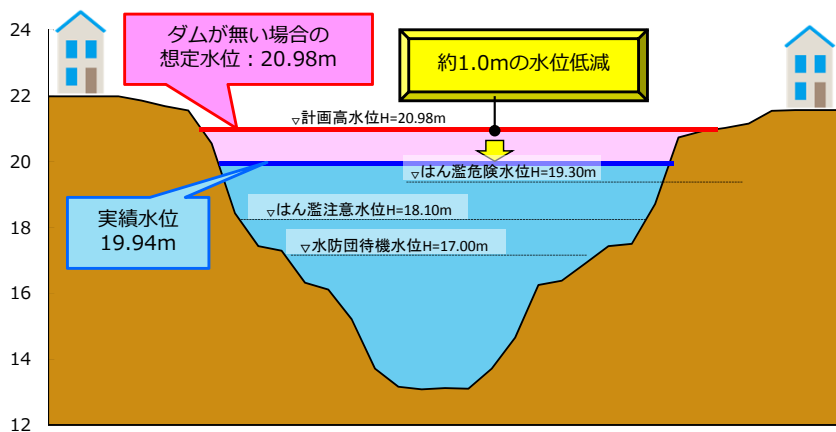
位置図



留萌ダムの防災操作



幌糠水位観測所地点



留萌ダム貯水状況



幌糠水位観測所付近

